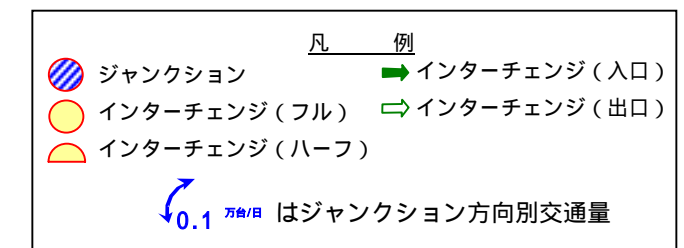
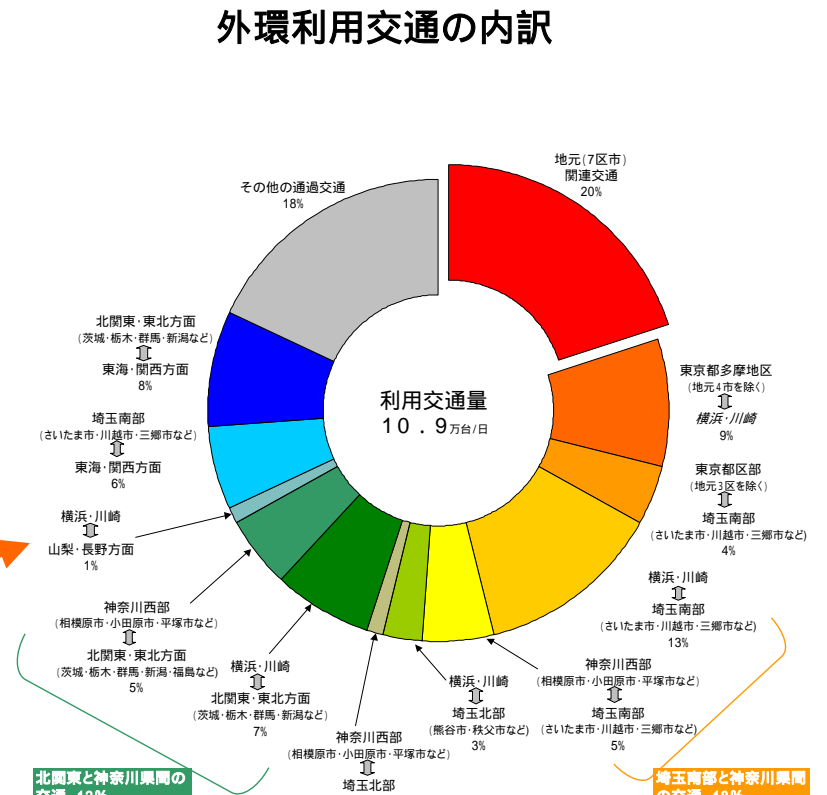
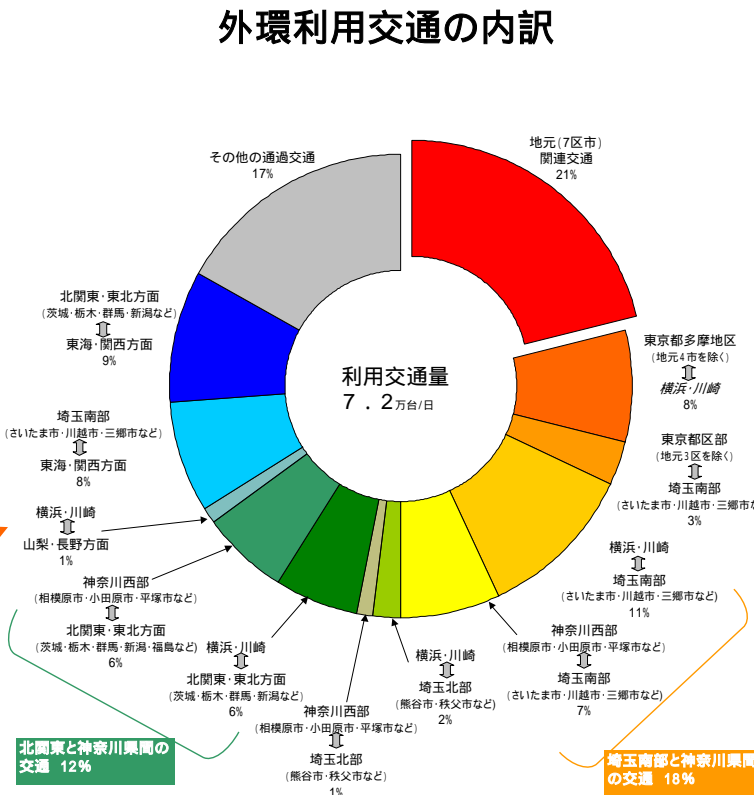
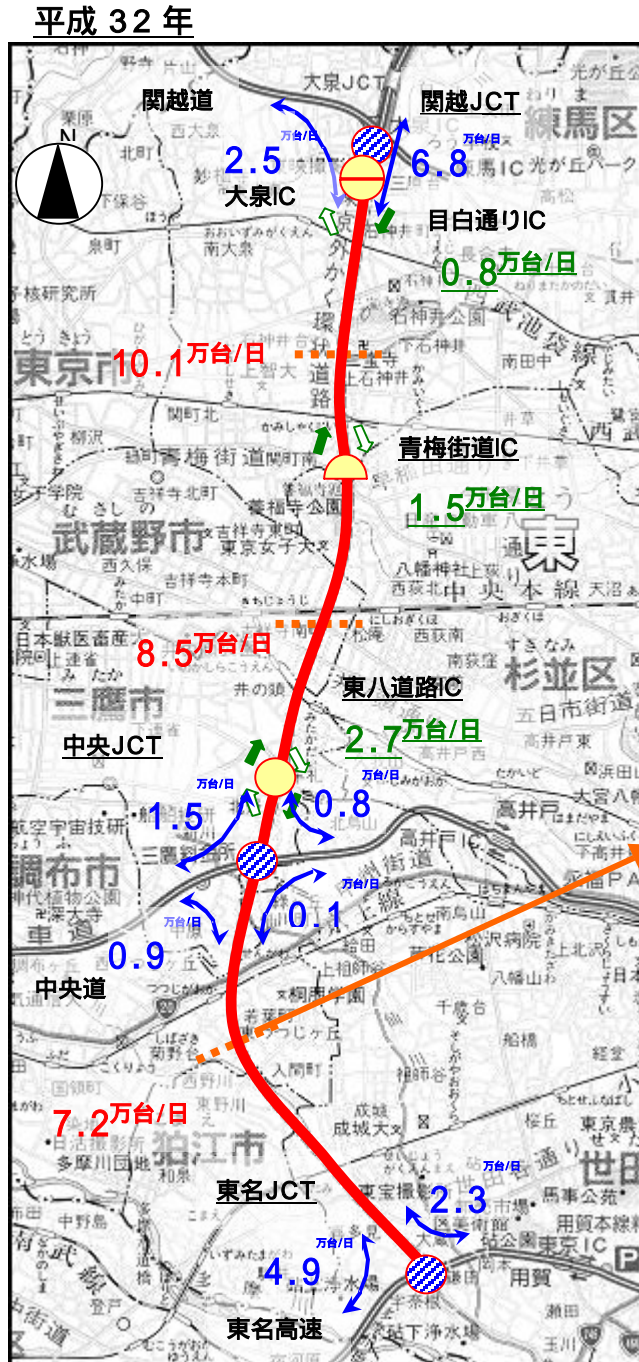


(参考) 将来交通量の推計結果 (外環ノ2がない場合)

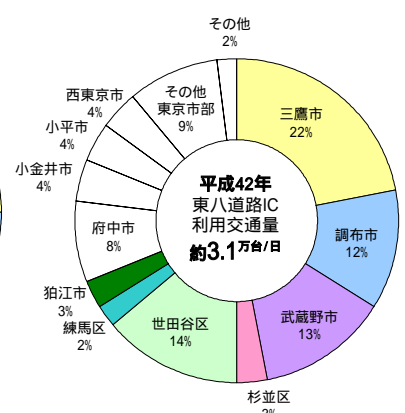
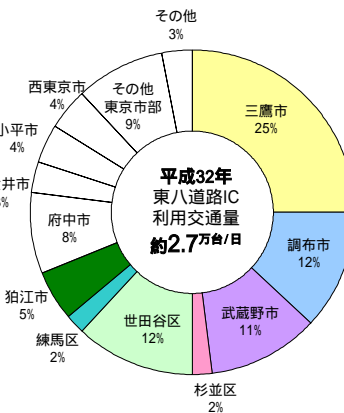
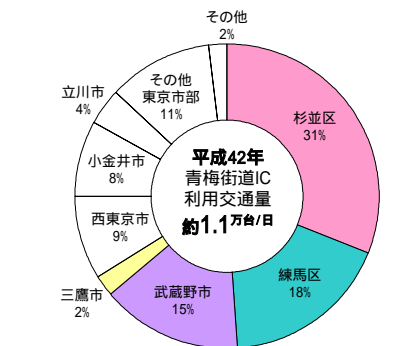
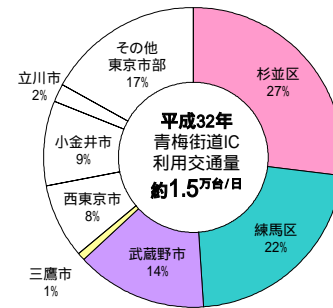
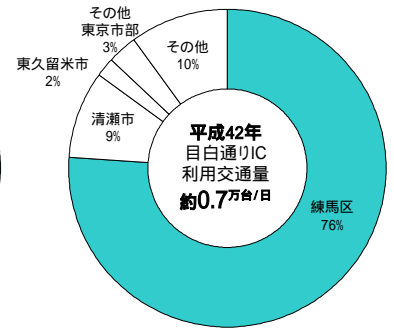
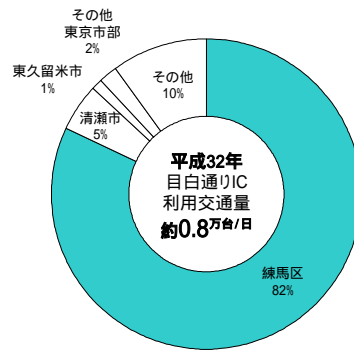
(1) 外環の交通量等 (外環ノ2がない場合)

- 平成32年における外環の交通量(断面)は、約7.2~10.1万台/日と平成42年における外環の交通量(断面)は約9.8~10.9万台/日と推計される。
- 外環利用交通の内訳としては、地元(7区市)関連交通は2割程度と少ない。通過交通の内訳としては、埼玉南部と神奈川間の交通が約2割前後、北関東と神奈川県間の交通が約1割を占めている。

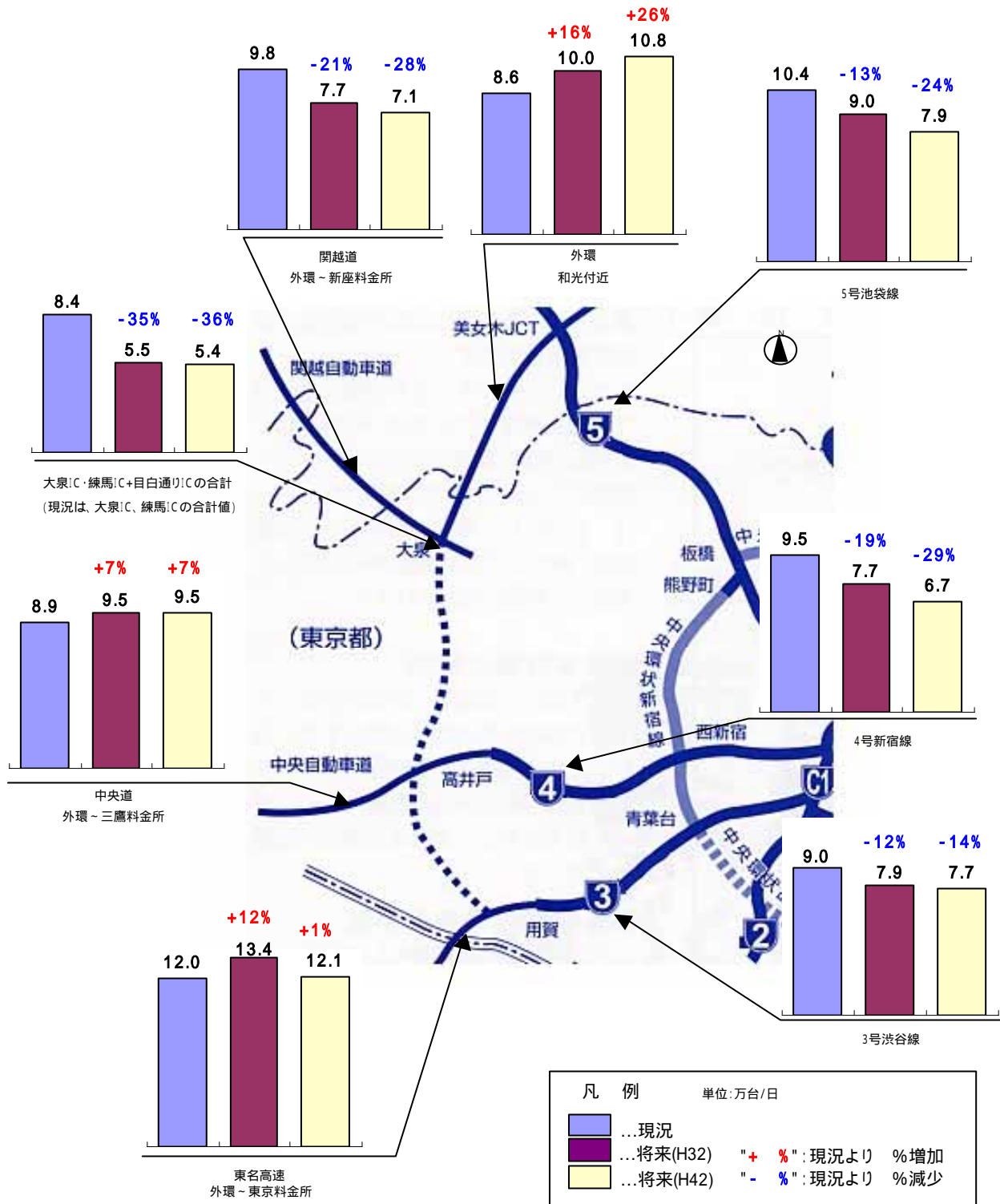


(2) インターチェンジ利用交通量等 (外環ノ2がない場合)

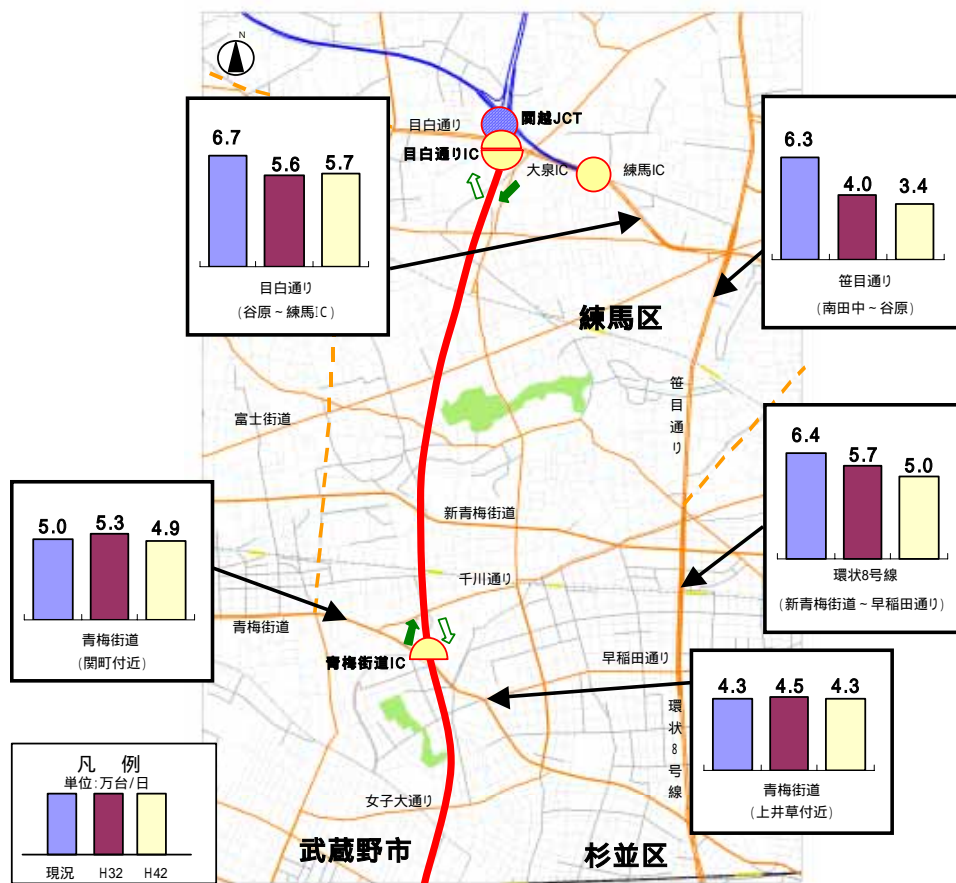
- 平成42年における3箇所のICは合計4.9万台/日の利用が見込まれる。このうち約7割にあたる3.4万台/日が地元(7区市)に関連する交通と見込まれる。
- 平成32年には、合計5.0万台/日の利用が見込まれる。



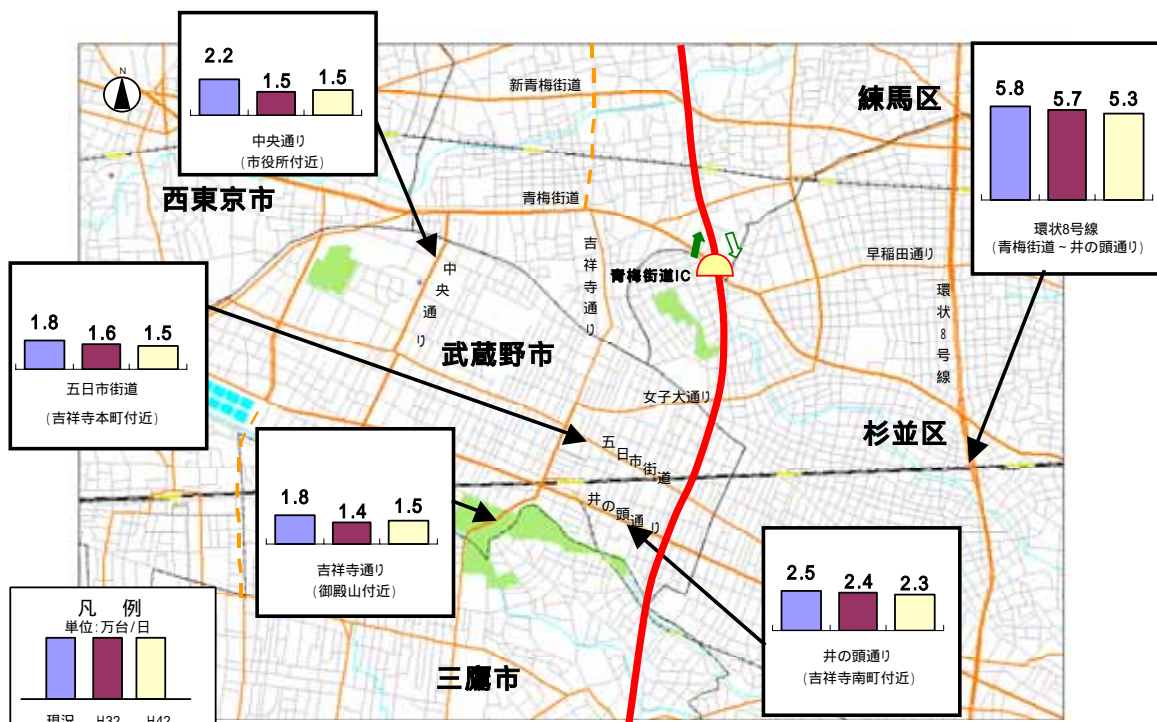
(3) 主要道路の交通の変化 高速道路における変化(外環ノ2がない場合)



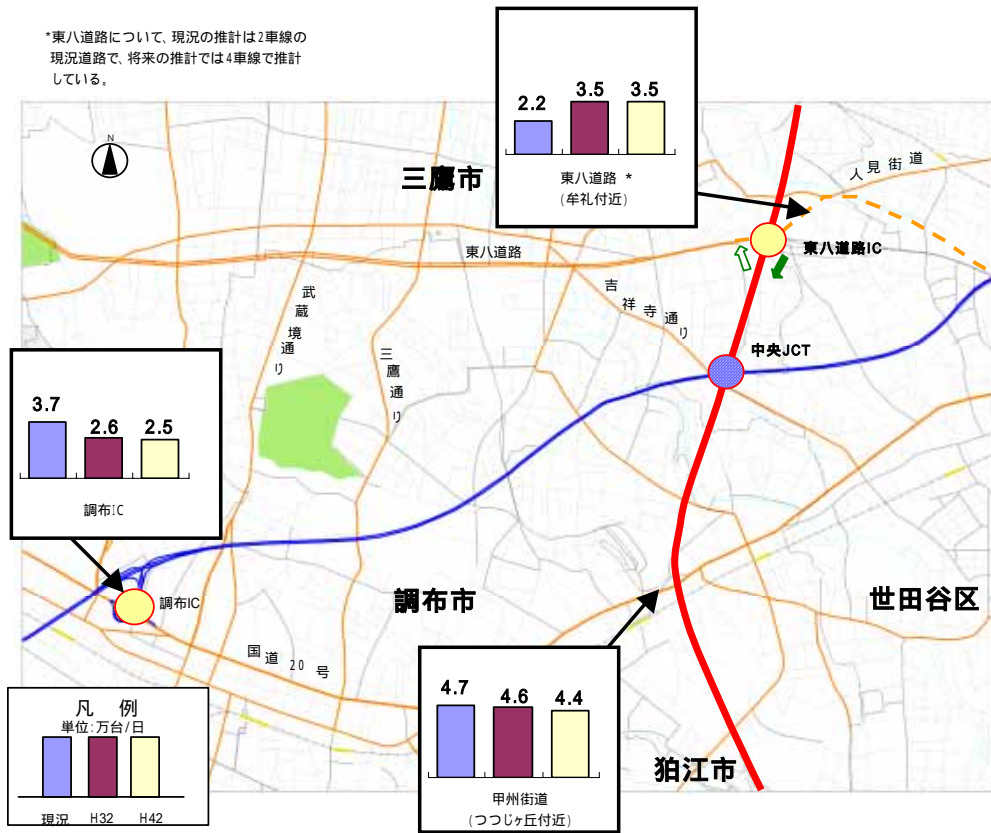
練馬区・杉並区周辺（外環ノ2がない場合）



武蔵野市周辺（外環ノ2がない場合）



三鷹市・調布市周辺（外環ノ2がない場合）



狛江市・世田谷区周辺（外環ノ2がない場合）

